



# 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 三精テクノロジーズ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6357 URL <http://www.sansei-technologies.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良知 昇

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山邊 隆義

TEL 06-6393-5621

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日

平成30年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	23,956	99.2	1,382	153.4	1,382	108.3	839	115.3
30年3月期第2四半期	12,024	1.8	545	43.2	663	36.1	390	38.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 711百万円 (17.7%) 30年3月期第2四半期 604百万円 (144.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	45.55	45.21
30年3月期第2四半期	21.19	21.06

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	70,802	29,067	40.9	1,569.06
30年3月期	66,489	28,592	42.9	1,547.50

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 28,952百万円 30年3月期 28,492百万円

(注1) 平成30年3月期に行われた企業結合において、前連結会計年度では暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期会計期間に確定したため、平成30年3月期について確定の内容を反映させております。

(注2) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を平成31年3月期第1四半期期首から適用しており、平成30年3月期については、当該会計基準を遡って適用した組替後の数値を記載しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		12.50		15.00	27.50
31年3月期		17.50			
31年3月期(予想)				17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	90.6	4,350	96.7	4,250	81.8	2,700	93.0	146.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	19,332,057 株	30年3月期	19,332,057 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	879,775 株	30年3月期	920,213 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	18,440,660 株	30年3月期2Q	18,412,500 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き堅調な企業業績や雇用環境等を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、地震や台風等相次いだ自然災害の影響や、米国の通商政策に基づく貿易摩擦による世界経済の下振れ懸念等から、先行きについては不透明な状況が続きました。

このような環境下、当社グループは遊戯機械・舞台設備・昇降機及び保守改修の4部門で、業績の向上に取り組んでまいりました。

この結果、本年3月に完全子会社化したVekoma社の業績が大きく寄与したこともあり、売上高は23,956百万円（前年同期比99.2%増）、営業利益は1,382百万円（同153.4%増）、経常利益は1,382百万円（同108.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は839百万円（同115.3%増）と、大幅な増収増益となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

（売上高はセグメント間の内部売上を含んでおりません）

#### 製品製造関連

製品製造関連は、遊戯機械部門でVekoma社の業績の寄与に加え国内外の大型案件が順調に進捗したこと、舞台設備部門も大型公共ホールの新設や大規模コンサートが堅調であったこと等から、売上高は20,314百万円（同145.8%増）、セグメント利益は1,966百万円（同128.7%増）となりました。

#### 保守改修関連

保守改修関連は、舞台設備の改修案件において大口案件が前年同期比では一服したこと等から、売上高は3,581百万円（同3.1%減）、セグメント利益は134百万円（同59.4%減）となりました。

#### その他

売上高は59百万円（同4.7%減）、セグメント利益は23百万円（同14.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4,610百万円増加し、39,462百万円となりました。これは主に、債権の回収と前受金の増加により現預金が5,646百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ297百万円減少し、31,340百万円となりました。これは、S&S社の新工場完成に伴い建物及び構築物の増加を中心に有形固定資産が304百万円増加し、時価評価等により投資有価証券が351百万円増加したものの、償却が進捗したことにより無形固定資産が957百万円減少したこと等によるものです。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ4,312百万円増加し、70,802百万円となりました。

#### (負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,241百万円増加し、22,048百万円となりました。これは主に、海外子会社を中心に前受金が3,867百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ597百万円増加し、19,686百万円となりました。これは主に、S&S社の新工場建設に伴い長期借入金が増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ3,838百万円増加し、41,735百万円となりました。

#### (純資産の部)

前連結会計年度末に比べ474百万円増加し、29,067百万円となりました。これは主に、利益剰余金が563百万円増加したことによります。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ5,646百万円増加し16,229百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,102百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は616百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、前受金の増加4,132百万円、税金等調整前四半期純利益1,382百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加1,823百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、636百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は300百万円の収入）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出590百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、218百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は829百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、長短借入金の純増加496百万円であり、支出の主な内訳は配当金の支払額276百万円であります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点において平成30年6月4日に公表した数値を見直しておりません。今後の業績の推移により、見直しの必要が生じた場合には、すみやかに開示致します。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,616,701	16,262,962
受取手形及び売掛金	17,244,113	18,569,497
電子記録債権	6,538	35,987
有価証券	231,085	130,081
仕掛品	653,883	1,155,161
原材料及び貯蔵品	1,875,716	1,709,480
その他	4,246,895	1,782,935
貸倒引当金	△22,600	△183,683
流動資産合計	34,852,334	39,462,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,185,560	5,387,200
土地	4,240,094	4,228,169
その他(純額)	1,942,765	1,057,846
有形固定資産合計	10,368,420	10,673,215
無形固定資産		
のれん	11,231,790	10,826,615
その他	4,752,215	4,200,235
無形固定資産合計	15,984,005	15,026,850
投資その他の資産		
投資有価証券	3,828,374	4,179,906
その他	1,458,876	1,462,044
貸倒引当金	△2,039	△1,645
投資その他の資産合計	5,285,211	5,640,304
固定資産合計	31,637,637	31,340,371
資産合計	66,489,971	70,802,793

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,649,761	4,365,219
短期借入金	2,318,750	2,351,662
1年内返済予定の長期借入金	1,326,008	1,326,008
未払法人税等	753,155	352,046
前受金	5,604,091	9,472,002
賞与引当金	487,633	462,135
役員賞与引当金	25,000	25,000
工事損失引当金	1,159,085	1,106,386
その他	3,484,282	2,588,362
流動負債合計	18,807,767	22,048,821
固定負債		
長期借入金	15,949,782	16,391,278
退職給付に係る負債	1,989,280	2,043,551
その他	1,150,739	1,252,130
固定負債合計	19,089,801	19,686,959
負債合計	37,897,568	41,735,781
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,251,279	3,251,279
資本剰余金	2,424,117	2,429,502
利益剰余金	21,212,707	21,776,446
自己株式	△462,855	△442,579
株主資本合計	26,425,248	27,014,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,392,852	1,546,625
繰延ヘッジ損益	25,660	9,635
為替換算調整勘定	649,376	383,424
退職給付に係る調整累計額	△835	△1,512
その他の包括利益累計額合計	2,067,053	1,938,173
新株予約権	100,101	114,189
純資産合計	28,592,403	29,067,012
負債純資産合計	66,489,971	70,802,793

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	12,024,752	23,956,474
売上原価	8,998,353	17,982,397
売上総利益	3,026,398	5,974,077
販売費及び一般管理費	2,481,065	4,591,962
営業利益	545,333	1,382,115
営業外収益		
受取利息	3,561	3,723
受取配当金	51,858	57,860
保険配当金	38,508	6,230
貸倒引当金戻入額	45,178	-
その他	23,905	35,371
営業外収益合計	163,012	103,185
営業外費用		
支払利息	11,285	80,128
支払手数料	2,815	2,716
持分法による投資損失	25,536	5,679
為替差損	5,059	7,049
その他	110	7,403
営業外費用合計	44,808	102,978
経常利益	663,537	1,382,322
特別利益		
固定資産売却益	2,027	-
投資有価証券売却益	71,455	-
特別利益合計	73,482	-
特別損失		
投資有価証券売却損	539	-
特別損失合計	539	-
税金等調整前四半期純利益	736,480	1,382,322
法人税等	346,335	542,405
四半期純利益	390,145	839,916
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	390,145	839,916

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	390,145	839,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	301,620	153,773
繰延ヘッジ損益	△8,270	△16,024
為替換算調整勘定	△76,749	△265,951
退職給付に係る調整額	△2,447	△676
その他の包括利益合計	214,153	△128,879
四半期包括利益	604,298	711,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	604,298	711,037
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	736,480	1,382,322
減価償却費	316,810	820,965
のれん償却額	89,769	398,212
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,263	△25,497
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000	-
工事損失引当金の増減額(△は減少)	7,601	△3,585
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	57,188	54,271
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△45,178	161,199
受取利息及び受取配当金	△55,420	△61,584
支払利息	11,285	80,128
持分法による投資損益(△は益)	25,536	5,679
投資有価証券売却損益(△は益)	△70,916	-
固定資産売却損益(△は益)	△2,027	-
売上債権の増減額(△は増加)	2,420,196	△1,823,879
たな卸資産の増減額(△は増加)	△364,226	△404,762
仕入債務の増減額(△は減少)	△575,123	826,404
前受金の増減額(△は減少)	△174,840	4,132,685
未払消費税等の増減額(△は減少)	△364,624	△78,362
未収消費税等の増減額(△は増加)	△76,194	158,740
その他の資産の増減額(△は増加)	△45,433	1,854,160
その他の負債の増減額(△は減少)	△151,999	△1,077,240
その他	444	35,444
小計	1,734,592	6,435,303
利息及び配当金の受取額	56,212	61,793
利息の支払額	△13,204	△71,087
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,161,202	△323,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	616,397	6,102,397

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
投資有価証券の取得による支出	-	△130,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	413,170	100,950
有形固定資産の取得による支出	△109,789	△590,907
有形固定資産の売却による収入	8,627	-
無形固定資産の取得による支出	△23,620	△22,106
貸付けによる支出	△4,075	△6,320
貸付金の回収による収入	16,163	4,068
その他	385	7,943
投資活動によるキャッシュ・フロー	300,862	△636,371
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△369,468	55,225
長期借入れによる収入	100,000	1,104,500
長期借入金の返済による支出	△188,000	△663,004
リース債務の返済による支出	△3,264	△2,225
ストックオプションの行使による収入	3	40
自己株式の取得による支出	△430	△95
配当金の支払額	△367,876	△276,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	△829,036	218,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,375	△38,194
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	70,848	5,646,261
現金及び現金同等物の期首残高	11,234,430	10,583,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,305,279	16,229,756

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産又は流動負債として繰延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。